

高齢者の運転免許証「自主返納」について考える

高齢の方はベテランドライバーではあるものの、身体機能の低下によりハンドルやブレーキ操作等に遅れが出るなどの特性が見られます。高齢者の自動車運転による交通事故死は、10年前と比較すると、高齢者の占める割合は54.7%と高い水準で推移しています。

75歳以上の人は免許更新時に認知機能検査が必須に

こうした中、運転免許証の更新期間が満了する日の年齢が70歳以上になる方を対象に、「高齢者講習」を受けることが義務付けられています。

また2017年の道路交通法の改正により、75歳以上のドライバーの方はこの「高齢者講習」に加え、記憶力や判断力を検査するため3年ごとに「講習予備検査（認知機能検査）」を受検することが必須となっています。もし、認知症の恐れがあると判断されれば、医師の診断書が必要になります。こうして高齢者の自動車運転に厳しい目が注がれるようになったこともあり、最近、免許証の自主返納が増えてきているといわれています。そして、いま全国の自治体で自主返納を支援する制度がつけられています。

一宮市の運転免許証「自主返納支援制度」



- 対象者** ・一宮市内に住民登録をしている70歳以上の方
・有効期限内のすべての運転免許証を自主返納する方
- 支援内容** ・一宮市のバス回数券、又はICカード「manaca」のいずれか2,000円程度 ・交通安全グッズ
- 申請方法** 1. 一宮警察で免許証返納の続きをする
2. 手続き後「申請による運転免許の取消通知書」と「取り消された運転免許証」を受け取る
3. 市役所市民協働課で申請書に必要事項を記入し、一宮警察署で受け取った「申請による運転免許の取消通知書」と「取り消された運転免許証」を提示して申請する。
- 注意事項** ・一宮市内では、一宮警察署以外での免許証返納手続きはできません。
・申請は返納してから60日以内に行ってください。
・運転免許証の期限切れは対象になりません
・警察で運転免許証を自主返納したら「運転経歴証明書」を申請することができます。身分証明書として使えます。但し、手数料1,100円あります。

—— 車がなくても困らない街づくりも考えていく事が ——

支援制度にしては、わずかな中身だし手続きが面倒な感じがします。それにうっかり車を運転して手続きにいったら帰りは車を運転できません。免許証返納は高齢者自らの命を守り家族の不安をなくし、安全面や環境問題を考えれば悪い制度ではありません。しかし、市内では車がなくては生活できない地域が多くあります。まだまだ生活には必要不可欠な高齢者が多くいます。「車がなくても困らない」そんな街づくりをもっと考えていく必要があるのではないだろうか

「道徳の教科化への狙いと子どもたちや教職員の影響について」 ＜尾関宗夫議員が質問しました＞



尾関 宗夫

- 質問** 今年度は小学校で、来年度は中学校で道徳の教科化がスタートする。その狙いは何か。
- 答弁** 道徳の目標は、「道徳的諸価値についての理解をもとに、自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」こと。そして道徳が教科となったことで評価を行う。
- 質問** 道徳の教科化で、一人ひとりを評価。人間の心の中やありようを評価することは、教育の基本から外れている。文科省の決定に疑問を感じるが、どのように評価するのか。
- 答弁** 評価は数値でなく、文章による評価。他の子どもとの比較でなく、子ども自身が成長した部分を認め励ます評価を行う。年に1回、年度末に評価する学校が多い。
- 質問** 中学校は、来年4月から道徳の教科化へ移行。小学校と変わるのは歴史認識に関わる記述と、日本の偉人を扱うことが予想されるが、中学校はどこの出版社の教材か。
- 答弁** 資料がないので答えられない。公表されています。
＜参考＞ 中学校「教育出版」 小学校「光村図書」

☆＜尾関議員の意見＞

一番の心配は、一人ひとりのところの中を評価すること。子どもたちが「教師の顔色をうかがい」素直な疑問や考えを表現できなくなるのではないかと。様々な意見が出ると思われるが、教育の責任・重要性を教職員全員で議論されることを求めます。

「今伊勢地域の踏切の安全対策を進めるために」



ひよか 和子

＜彦坂和子議員が質問しました＞

- 質問** 平成29年12月議会の私の質問「今伊勢地域の踏切について」以後の市の動きは？
- 答弁** 今伊勢地域の踏切について、32年度までに改良工事を実施するか、改良計画を作成するために、地方踏切道改良協議会を設置することになり、現在日程調整中です。
(注) 平成29年1月、国は改良すべき踏切道として全国で529カ所、県内では69カ所、一宮市では今伊勢駅南と石刀駅南踏切を指定しました。
- 質問** この協議会で住民や利用者の声は反映されるのか？ 平成28年秋250名もの住民から要望・意見が寄せられた。今伊勢駅南踏切内の凸凹の解消、南側に歩行者用路側帯の設置、石刀駅南踏切では東側の道路の拡張等でした。今後の市のとりくみは？
- 答弁** 今後の対策の検討を行う際の参考とさせていただき、地域の実情に応じた踏切道対策を検討し実施していきます。改良計画作成時に、自動車の交通量や歩行者の調査、踏切の遮断時間調査、踏切停車中のドライバーへのアンケート調査などを実施します。住民や利用者の声も取り入れ、実効性のある効果的な計画を作成したいと考えます。



中学生に自衛隊の職場体験させていいのか

一宮市内の19校中の10校58名の生徒が「職場体験学習」として自衛隊春日井、守山、各務原の自衛隊基地に出掛けています。

日頃私たちが目にする自衛隊は災害現場での人命救助、復興作業です。東日本大震災、熊本、北海道大地震、災害列島でメディアをとおしての自衛隊は本当にたくましくありがたい存在だと思います。

災害現場で働く隊員を子どもたちは「かっこいい」「人のためになりたい」と純粋に感動し、職場体験に自衛隊を希望する生徒もいると聞いています。しかし、自衛隊の第1の任務は戦場での戦闘行為です。

9月議会の一般質問で「市の見解」を求めました。市長は「自衛隊は25万人の最大の国家公務員で、生徒が職場体験を望むのは自然の考えではないか？安全に配慮して行うことなので、現時点では特別問題にすることはないと考えます」と答えています。しかし大人として子どもたちに伝えなければいけないことがあるのではないのでしょうか。

安保関連法制により、自衛隊が海外の戦闘地域に向かう危険性が高まっていること。一般の職場と違うということ。党議員団は「いのちを大切に、平和な社会を作る人間を育てる教育的立場から容認できない」と中学生の職場体験先に自衛隊を対象とすることに問題があると、指摘しました。



一般質問中の「議事進行」って！？

9月議会を傍聴していたの出来事です。

彦坂議員の一般質問中に他の議員が「議事進行」と挙手し何か発言しました。議長は彦坂議員を制止し、録画を止め、議会事務局と相談。しばらくして議長が彦坂議員を呼び何やら言って、何もなかったかのように質疑が再開されました。

傍聴者の私はあとから彦坂議員に聞いてみました。すると議長に「一般質問は市政に関することを中心に質問するように」言われたとのこと。質問内容は市内の中学2年生が自衛隊体験学習している問題で、まさに市政のことでしかも「通告」通りであり議長の彦坂議員への発言は誤りだと思いました。

後日、共産党議員団と私は議長に面談し内容を確認しました。議長は取り扱いの誤りを認め謝罪しました。そして今後については適正な対応を求めました。

議会傍聴者 Y. I

* 12月議会が始まります。一般質問は11月30日、12月3、4日です。
あなたも議会を傍聴し、感想等投稿をお寄せください。

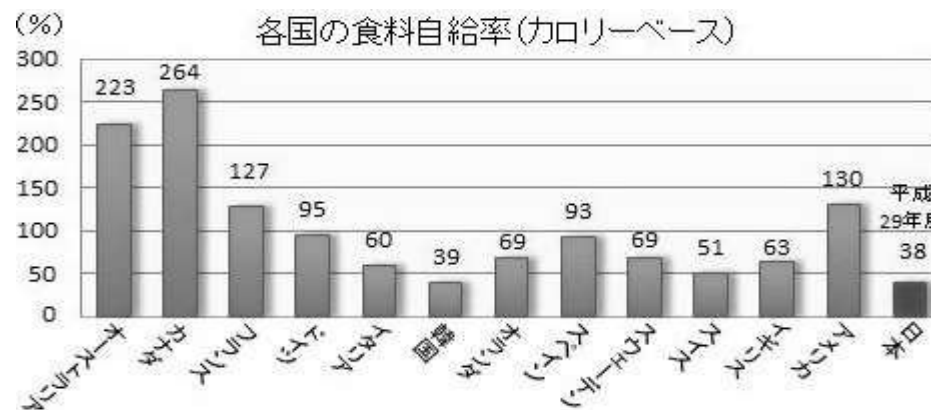
◇ 年々下がり続ける食料自給率 ◇

子どもたちに安全・安心な食べ物を！

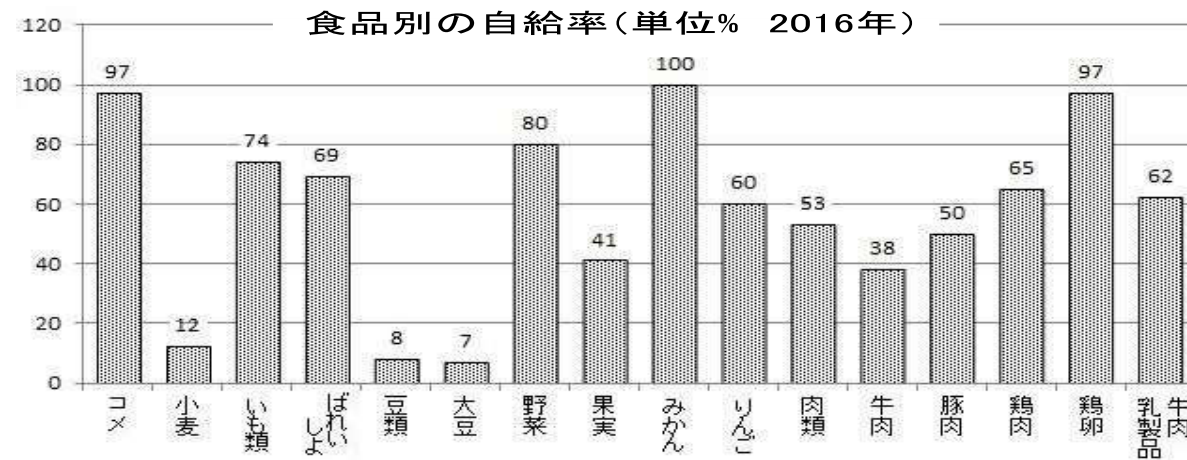
年々下がり続ける食料自給率は、食料の6割以上を外国に依存し

(先進国では最低)、急速に進む「食（生産・流通・加工・消費）のクローノ食の安全・安定・安心をおびやかしています。

食の安全確保の国の予算が127億円、国民1人あたり、僅か100円（2016年）です。農薬、食品添加物、抗生物質、ホルモン剤、飼料添加物、遺伝子組み換え作物の輸入量が広がっています。安定した食料基盤の確立のための国の農業政策、食料政策なくして「食の安心」はありません。安全確保のためにも自給率の向上が必要です。



* 日本は平成29年度、韓国は平成28年、スイスは平成27年、それ以外の国は平成25年の数値です。(農林水産省の試算)



第36回 愛知赤旗まつり

11月11日(日) 午前10時開会~午後3時閉会

名古屋市昭和区 鶴舞公園

参加協力券 一般1500円(当日1700円)
大学生以下無料



沖縄と平和を歌う

川口真由美



小池 晃



井上さとし



もとむら伸子



すま初美